

会 議 録

1 会議名

令和5年度第2回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・「地域活性化の方向性」の実現に向けた体制について（公開）

3 開催日時

令和5年6月26日（月）午後6時30分から午後8時10分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 坪田 剛（会長）、金森幸雄（副会長）、齊藤徳夫、佐藤寿美子、
佐藤峰生、平野コトミ、水寫豊秋（欠席者5名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【坪田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：佐藤寿美子委員に依頼

議題【協議事項】「地域活性化の方向性」の実現に向けた体制について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

本日は、地域活性化の方向性の実現に向けた体制の検討ということで、地域協議会内の部会設置についてご協議いただきたい。資料の説明に入る前に、本日の進め方として、初めに部会の設置の是非についてご協議、決定していただき、決定した内容に応じて協議を進めてもらうという流れで考えているが、まずは、この進め方でよいか委員の皆様でご協議頂きたい。

【坪田会長】

4月に地域の団体を交えて意見交換会をしたときに、ある団体から、部会を開いて、一つ一つの意見を聴きながら取組を進めてみてはどうかという意見もあり、これまでの協議や本日の資料にあるように部会を設けることの是非について、各委員から意見をお聞きしながら、決定していきたいと思っている。本日の進め方も含めて各委員から意見を募りたい。

齊藤委員、意見を求める。

【齊藤委員】

会長の説明のとおり、4月の意見交換会の際、部会を設けて各団体と協議をすすめたらどうかという意見があった。その意見を聞いたとき、この地域協議会は12名の委員がいるので、各構成要素に対して2名ずつで分かれるのかなと頭に浮かんだ。いずれにしてもまずは、部会を設けるか設けないかという審議が最初だと思うし、部会を設けるという方向で行くとなれば、その方向でみんな団結して、やったほうがよいとも思うが、今のところまだクエスチョンの頭である。

【坪田会長】

佐藤寿美子委員、意見を求める。

【佐藤寿美子委員】

部会を作ることも一つの方法かもしれないが、そこに行くまでに何か必要ではないかと思う。これ以上やるが増えたら、どうしていけばよいかとも思う。

【坪田会長】

部会はこの12人のメンバーの中での部会である。そのように理解をお願いしたい。

佐藤峰生委員、意見を求める。

【佐藤峰夫委員】

部会を設置して、前に進むやり方は大賛成である。部会を設置するには幾つかの利点

があると思う。一つとしては、少人数になるので、構成メンバーの意見がたくさん集められることと、議論をして方向づけや結論づけがやりやすくなるという点である。部会を設置して検討していくことには大賛成である。

【坪田会長】

平野委員、意見を求める。

【平野委員】

何かを始めるとしたら、部会というものがあつた方が、始めやすくなるのではないか。何かした方がよいとばかり言っているけれども実際には始まらないので、あつたほうがよいと思う。

【坪田会長】

水嶋委員、意見を求める。

【水嶋委員】

私もその方がよいと思うが、最初はあまり細かく分けたいほうがよいのではないか。始めは二つぐらいにして、その中で必要であれば細かく分ける。今のこの状況を見ても、会議に人がなかなか集まらない中で、あまり細かく分けるとよい部会と悪い部会が出てしまうのではないかという心配もある。

【坪田会長】

金森副会長、意見を求める。

【金森副会長】

正直なところ、まだ迷っている。部会を設置することで取り組みやすくなる、いろいろな意見が出やすくなるということでは非常によいことだとは思っている。ただ、部会で決めたことを、また全体で協議する場面が多分あると思うが、せっかく部会で出た意見と違う意見が出てきたときに、混乱を招くようなことがあるのではないかと頭をよぎる。形としては、部会はあつたほうがよいのではないか。ただ人数が12名のため、今日のように欠席者が多くなつたときに、果たして部会としての機能が発揮できるのか等不安があるが、どちらかという方向で考えている。

【坪田会長】

各委員の意見を総合すると全体的には、小さくして部会を作つたほうが意見を出しやすい、話しやすいという意向かと感じた。部会を設置するという方向性でよいか。

(賛同の声)

今後について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

部会設置の是非についてもご意見をいただき、設置する方向となったが、改めて資料を説明するので、イメージを膨らませていただきながら改めて不明な点の質疑、意見を伺いたい。

・資料No.1 『『域活性化の方向性』実現に向けた体制について』に基づき説明

【坪田会長】

部会を設置する場合の構成・運営方法について、事務局から説明をいただいた。質疑、意見を求める。

【佐藤峰夫委員】

部会の運営方法の例の説明があったが、方法1、方法2のどちらにするかという議論には私はならないと思う。最初の1回か2回は、方法1のやり方で議論をして、議論が進んでいくと実施、実践に向けて関係する団体の皆さんを巻き込んでというふうになる。そうすると方法2をやらざるをえなくなると思う。1回2回やるということではなく、周囲の進み具合により、方法1、方法2のどちらにするかということが決まってくると思うので、それでよいのではないかと私は思う。

【丸山主任】

おっしゃるとおりどちらかにしなければならないというものではなく、協議の進捗状況や進め方によって、どちらの方法も取ることはできるので、その都度検討していけばよいと思っている。

【坪田会長】

他に質疑、意見を求めるがなし。

2ページ目、部会の構成要素が青枠、赤枠で囲ってあるが、この二つに分けてやっていくのかどうか、皆さんの意見を伺いたい。①②で一つ、③④⑤⑥で一つということであるが、内容によって移動があってもよい。皆さんの意見を踏まえながら割振りをしたい。

【齊藤委員】

3ページ目で、全体会と部会の話がわかった。3ページ目、赤枠の部会で、ある程度人員割りのようなことをやりながら進めていくということではいいか。そうすると、その前に各部会の仕組み等を話し合っていないといけないということか。

【坪田会長】

今お聞きしているのは、事務局案の2ページの内容である。部会を作った場合、構成要素をどのような分け方にするのか意見を伺いたい。その後、その二つの部会の配属を決める。皆さんに納得してもらい、各々の意見を聞きながら決めていかないと、これからの地域活性化の方向性の検討としては好ましくないので、一つ一つ順を踏んで決めていきたい。

【佐藤峰夫委員】

順番に全員に聞いてほしい。

【坪田会長】

佐藤寿美子委員どうか。率直な意見でよい。

【佐藤寿美子委員】

六つに分け、さらに幾つかに分けるかどうかということでしょうか。

【齊藤委員】

これは一つの案ということか。

【坪田会長】

あくまでも案としていかがかということである。

【佐藤寿美子委員】

とりあえずはこの方向でいったほうがよいのではないかと。

【坪田会長】

佐藤峰生委員いかがか。

【佐藤峰夫委員】

私も事務局案に賛成である。名称も非常によいと思うので、是非これにしてほしい。

【坪田会長】

平野委員いかがか。

【平野委員】

私もこれでよいと思う。はっきり分かれていてよいと思う。

【坪田会長】

水嶋委員いかがか。

【水嶋委員】

これでよいのではないかと。その中でまた分けるのか分けないのかが出てくるかもしれ

ないが、あまり細かく分けるよりもこれでよいと思う。

【坪田会長】

今お聞きすると、皆さん事務局案の2ページの分け方でよいということなので、次に割振りをするのでよいか。

【丸山主任】

資料右下の部会のルールについても、各委員のご意見を聞いてもらいたい。

【坪田会長】

また一人一人に聞いていきたい。齊藤委員、意見、質問はないか。

【齊藤委員】

幅広く町内の関係に顔を出され、全体像がわかる方を選んで部会長を決めたほうがよいと思う。その場合には、部会を二つに分けたので、部会長を2名置くということによいか。

【坪田会長】

そうである。佐藤寿美子委員いかがか。

【佐藤寿美子委員】

このルールでよいと思う。

【坪田会長】

佐藤峰夫委員いかがか。

【佐藤峰夫委員】

スタートはこのルールでよいと思う。運用していくと決めたほうがよいこと等が出てくると思うので、それはその時点で追加していけばよいと思う。

【坪田会長】

平野委員いかがか。

【平野委員】

私は思いつかないので、これでよいと思う。

【坪田会長】

水嶋委員いかがか。

【水嶋委員】

私もよいと思うが、すべて部会に任せるのではなく、他の人の意見も入れたほうがよいので、時々全体で会議があってもよいのではないか。その中に、事務局からも入って

もらう方法がよいと思う。

【坪田会長】

個人的には、かちかちになって考えるということではなく、やわらかい形の中で意見を出し合いながら進めていけば、よりよい意見が出るのではないかと感じているが、副会長いかがか。

【金森副会長】

この部会のルールの中の三つ目、各部会で協議した内容は、全体会で共有する、とある。部会の意見を尊重するという事だろうと思うが、全体会で共有するという事なので、協議ではないということでしょうか。

【丸山主任】

各部会で話し合った内容を基本的には尊重していただかないと、部会を設けた意味がなくなる。全体会の中で意見をいただきながらブラッシュアップしていく形でとらえていただくとよいと思う。

【金森副会長】

一応皆さんからいろんな意見をいただいて、非常によい意見だということになれば、部会で決めた事であっても、若干の修正はできる余裕、柔軟性はあるということでしょうか。

【丸山主任】

部会の権能の話になるが、部会で決定するか、部会で話し合った内容を、全体会で報告していただき、その報告を受けて全体会で決定するか等のやり方の話だと思う。部会としては、部会の案として決定して、それを全体会に報告する。それについてもう一方の部会に所属している委員から意見、質疑をいただいた上で決定するとすれば、今ほどの金森副会長のお話も踏まえた中で、全体としての意思決定になるかと思う。その辺りは進め方の話になるので、今の説明でよいかどうかも含めて、また皆様で部会のルールについてご確認いただきたいと思います。

【坪田会長】

結局は動いてみないとわからない。最終の結論は、この地域協議会、谷浜・桑取区の12名で決定していく。部会で決めたから、頑なに部会で決めてもらう、何もできないということでは決してないと思う。そうしないとよい方向性は生み出せないなので、流動的。部会は部会でよい意見を出して、決めたものを発表して、また次の部会でブラッ

シュアアップしてそれを総合してこの12名で話し合い、気楽に意見を出し合って煮詰めていけばよいと思っている。他に意見があればどんどん発言してほしい。

他に質疑・意見を求めるがなし。

では方向性も今決まったので、次に、委員の割振りについて、事務局何かあるか。

【丸山主任】

今部会の構成ルールについてご協議いただいた。続いて、実際に各部会に所属する委員の割振りについてご協議いただきたい。部会については二つ設けるということをご協議いただいた。これから各委員の皆様から、どちらの部会に所属したいかをお考えいただきたい。これまでの地域での活動や経験等、知見を活かせる部会をご選択いただき、ご希望をまずお聞きしたい。人数に偏りがあると人数の少ないほうの部会の機能が難しくなってくるというところもあるので、会長采配や委員の皆様の話し合いで、人数を6対6、5対7というくらいのところまで調整いただければと思う。調整にあたっては、各部会で多様な意見を反映しやすいように、お住まいの地域や性別等も踏まえて調整していただき、様々な意見が出やすいような委員構成となるようご検討いただきたい。会長から、各委員の皆様のご希望をお取りいただき調整までお願いしたい。

【坪田会長】

皆さんご自身で得意分野をお考えいただき、この二つの部会でどちらがよいか一人ずつお聞きしたい。あまりにも人数のアンバランスが出てきた場合、理解を求める場合もあるのでご理解いただきたい。欠席者も含めて決めた方がよいか。

【丸山主任】

本日一旦お決めいただきたい。

【坪田会長】

4人欠席者がいると、人数配分がうまくいかない。

【丸山主任】

後日、改めて意見を聞ければよいが、本日欠席されている委員の皆様のこれまでの活動を皆様ご存知かと思う。この方であればこちらの部会のほうがよいのではないかとということで一旦決めていただいて、また後日意見を聞く中で、例えば次回の地域協議会の際に改めて調整するということで、人数の配分の調整もあるので、一旦お決めいただいたほうがよいかと思う。

【坪田会長】

齊藤委員、青粋の生活改善部会か赤粋の魅力活用部会、どちらを希望するか。

【齊藤委員】

私個人としては地域密着型ではないので、できれば事務局、会長、副会長から指名されればそちらにいくという方向でよいと思う。

【坪田会長】

どちらでも頑張れるということで承知した。

佐藤寿美子委員、希望があるか。

【佐藤寿美子委員】

どちらの部会の項目にも少しずつ関わっている。何とも言えない。どちらになってもよい。

【坪田会長】

佐藤峰夫委員、いかがか。

【佐藤峰夫委員】

私は魅力活用部会を希望する。ただ人数のバランスが悪いようであれば、どちらでもよい。

【坪田会長】

平野委員、いかがか。

【平野委員】

魅力活用部会は無理なので、生活改善部会のほうでお願いしたい。

【坪田会長】

承知した。水嶋委員、いかがか。

【水嶋委員】

どれにも関わっていないが、どちらかというところ、この地域の繋がりを深める活動のほうかと思うので、生活改善部会のほうがよいと思う。

【坪田会長】

承知した。齊藤委員は、人数を考えると魅力活用部会へ入ってもらうことになるが、よいか。

【齊藤委員】

やってみないとわからない。

【坪田会長】

私は魅力活用部会に入る。金森副会長はどうするか。

【丸山主任】

正副会長は、分かれていただきたい。

【坪田会長】

では、金森副会長は生活改善部会のほうに。仮称生活改善部会は金森副会長、佐藤寿美子委員、平野委員、水嶋委員の4人である。仮称魅力活用部会は齊藤委員、佐藤峰生委員、坪田となる。今、生活改善部会4人、魅力活用部会3人で、概ね平均して分かれたところである。続いて欠席の人を決めていただきたい。

【佐藤峰生委員】

荷屋委員は、城ヶ峰に関わっている。

【坪田会長】

では、荷屋委員は生活改善部会へ。次に、安達委員。

【佐藤峰生委員】

男性、女性のバランスはいかがか。

【坪田会長】

男女のバランスを考慮すると、安達委員は、魅力活用部会とする。横田委員はどちらがよいか。今までのことや行動を見て、どちらがよいと思うか。

【佐藤峰生委員】

町内会長をやられているので、生活改善部会のほうがよいと思う。

【坪田会長】

横田委員は生活改善部会で。寺島委員はいかがか。

【佐藤峰生委員】

寺島委員もだが、田村委員はどうするか。

【坪田会長】

田村委員はどちらがよいか。

【佐藤峰生委員】

田村委員は、魅力活用部会のほうがよいと思う。

【坪田会長】

では、寺島委員も魅力活用部会に入れば、各部会とも6人ずつになる。これで進めてよいか。

(賛同の声)

【坪田会長】

皆さんすべてを網羅されている方々なので、どちらの部会でも遜色ないと思う。それぞれの分野で意見を出してやっていただきたい。次は、部会の名称、協議のテーマへ移る。

【丸山主任】

この後の進め方について事務局から説明させていただく。今、各部会の構成メンバーを決めていただいたので、今、仮称とつけさせていただいている部会の名称の検討と、部会長の選出をお願いしたい。もう一つ、部会でまず検討するテーマを一つ挙げていただき、これから取り組んでいきたいことを部会ごとに分かれていただき、話し合いをお願いしたい。

－ 部会別協議 －

【坪田会長】

それぞれ活発な議論をしていただいたと思う。はじめに、仮称生活改善部会から部会長、また、協議の内容を発表していただきたい。

【水嶋委員】

部会の名称を検討したが、「地域活き活き部会」とした。検討するテーマは、伝統行事の小正月行事、城ヶ峰砦跡、里神楽は、既に各団体で活動しているので、これに地域協議会が何かするというものはないのではないかということである。その他、「地域の歴史・文化への理解を深める」ということで何かあればということここで検討していきたい、また、地域の繋がりを深めるための活動推進ということで、住民同士が交流できるような行事の実施を検討していくことと、各町内での行事の継続が難しいということについても、何かできるのではないかと。あと、現在の活動を維持し、新しい取組に挑戦するための仕掛けで、この地域の後継者を育てていくにはどうしたらよいかということも大事ではないかということ、それに取り組めればという状況である。

【坪田会長】

引き続き、仮称魅力活用部会の部会長、発表をお願いしたい。

【佐藤峰夫委員】

部会の名称については、事務局案と同じ「魅力活用部会」ということで決定をした。部会で検討するテーマは、テーマを選ぶにあたって、継続的に実施していることや、す

ぐに実践できること等、そういうものに絞った形で選んだ。6ページの子どもたちの体験活動の継続ということで、鮭の野外学習については秋になるので先である。魚の森づくり活動は、実際に子ども達が参加するのが10月頃とのこと、義の塩づくり体験が今活動が進められているそうなので、それぞれ具体的に内容が決まった段階で、実施団体の皆さんと協議するということにしたいと思う。7ページ目一番上、最初に旧をつけて、旧加賀街道になる。先月話をさせてもらったが、旧加賀街道の整備が来年の公民館の活動として取り上げられる可能性が大なので、五ヶ浦振興協議会の皆さんと協議をして、前に進めたいということで選ばせていただいた。次に8ページ目、来訪者のアンケートの実施と、7ページ目、たにはま公園内でのPRを絡めて、来訪者のアンケートの実施ということについて、公園管理組合の皆さんと協議をすることにしたいと思う。9ページ目、たにはま・くわどりの里ガイドマップ、これは実施されてからかなりの部数が配布されていると思うが、今新しく増刷がされているということなので、今まで配られたものについて、先ほど話したアンケート等で意見を聞きながら、より効果的に配布するにはということで、谷浜地域づくり協議会の皆さんと協議をする。今お話しした各種団体の皆さんと、今のテーマについて協議をして進めていくようにしたいと思う。

【坪田会長】

短時間の中でこれだけきちんと決めていただき感謝したい。今ほど地域生き生き部会の水鳥部会長から、魅力活用部会の佐藤部会長から報告いただいた。

全体をとおして意見、質問等を求めるがなし。

欠席者へは事務局から部会として穴埋めしていただいたものを示していただくことでよいか。

【丸山主任】

本日の欠席された委員の皆様へは、事務局からご案内をさせていただきます。

【坪田会長】

次にその他、次回地域協議会について事務局何かあるか。

【丸山主任】

第3回の地域協議会は7月下旬以降に思っているが、それより前に各部会においてお集まりをしたいとか、このような団体と意見交換をしたい等、何かあれば事務局までご一報いただきたい。段取りや、会場の手配等をお手伝いさせていただきたいと思う。次回の協議会自体は7月下旬以降に設定させていただきたい。会場の予約の都合等もあ

るので、後日ご案内させていただく。

【坪田会長】

早めに決めたほうが一人でも多くの委員が都合をつけられるのではないかと考えているが、会場の都合もある。

【丸山主任】

会場の都合もあるが、各部会のこの後の詰めもあるかと思うので一旦未定としたい。8月に入り忙しい時期等があれば避けて設定をしたいと思う。まずお盆の時期等は外したいと思っているが、他はよいか。

各部会の状況等も後程詰めさせていただきながら、次回の協議会については、別途日程調整させていただきたい。

【坪田会長】

次回の会議については未定としたい。他に事務局何かあるか。

【丸山主任】

地域自治の推進に向けたヒアリング調査にご協力いただき感謝申し上げます。調査票が未提出の委員がおられたら、6月末までにご提出をお願いしたい。

【坪田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。